

2024年7月30日公開

青森県民の気候変動に関する意識調査

<本件に関するお問い合わせ>

青森の温暖化対策を考える会 代表 中掘 一弥

電話：080-2942-1878

メール：55891co2zero@gmail.com

青森の温暖化対策を 考える会

未来をまもれるのは今



調査概要

- 主催者：青森の温暖化対策を考える会
- 対象：青森県在住の1000人を対象に18～79歳男女で概ね10代刻み（男性500人 女性500人）
- 地域：青森県
- 方法：楽天インサイト株式会社に委託し、オンラインで実施
- 時期：2024年7月4日(木)～2024年7月11日(木)
- 有効回答数：1000人
- 質問数：10問

調査結果

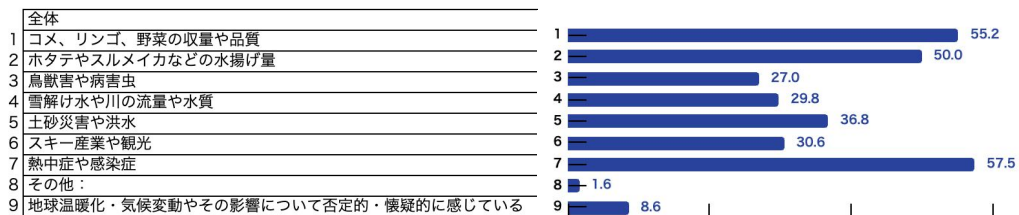
問1

県内では、下記のようなことに気候変動・温暖化の影響が現れたり、今後現れてくることが予想されています(注)。あなたは下記のうち特に何に、気候変動の影響を感じていますか？ いくつでも選んで下さい。(注) [青森県気候変動適応取組方針の概要パンフレット](#)

- コメ、リンゴ、野菜の収量や品質
- ホタテやスルメイカなどの水揚げ量
- 鳥獣害や病害虫
- 雪解け水や川の流量や水質
- 土砂災害や洪水
- スキー産業や観光
- 熱中症や感染症
- 地球温暖化・気候変動やその影響について否定的・懐疑的に感じている
- その他(記述)

問1 結果

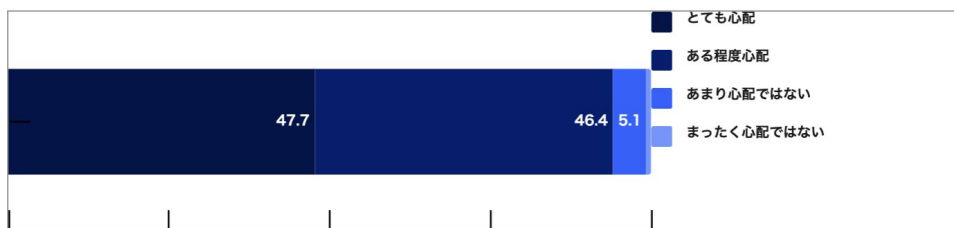
- 青森県内で確認されている、あるいは今後現れることが予想される温暖化・気候変動の影響について感じているものを聞いたところ(複数回答可)、「熱中症・感染症」と答えた人が57.5%と最多だった。同時に、「コメ、リンゴ、野菜の収量や品質」と「ホタテやスルメイカなどの水揚げ量」もそれぞれ50%を越え、農林水産業への影響を心配している人も多いことがわかる。



問2

あなたは前問で回答したことへの気候変動・温暖化の影響について、どう感じますか？

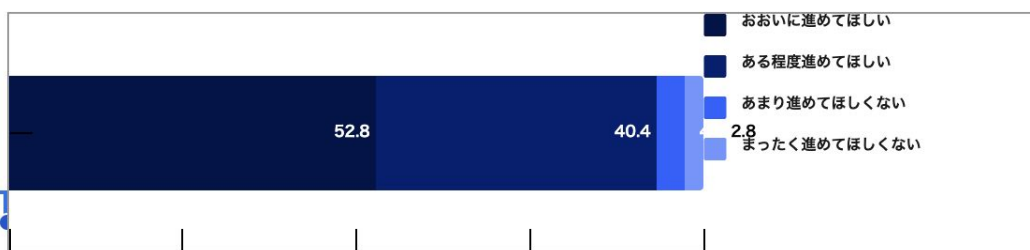
- 「とても心配」だけで約5割、「ある程度心配」を合わせると94%となり、青森での気候変動の影響を心配している県民が非常に多いことがわかる



問3

気候変動・温暖化を抑えるための政策を進めてほしいですか？

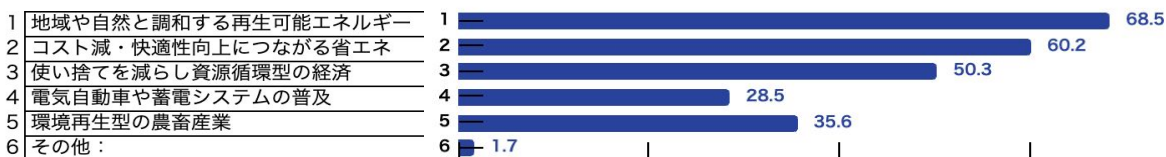
- 5割以上が「おおいに進めてほしい」と回答、「ある程度進めてほしい」を合わせると93.2%が気候変動・温暖化を抑えるための政策推進を望んでいる。



問4

前問で「おおいに進めてほしい、ある程度進めてほしい」と回答した方にお伺いします。どんな気候変動・温暖化政策を進めてほしいですか？ 緩和政策（気候変動の原因となる温室効果ガスの排出量を減らす政策）について、いくつでも選んでください。（複数回答可）

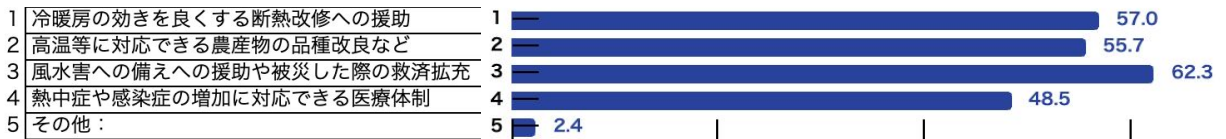
- 約7割が再エネ推進を支持し、省エネ、循環型の経済の推進への期待も過半数以上となった。



問5

問3で「おおいに進めてほしい、ある程度進めてほしい」と回答した方にお伺いします。どんな気候変動・温暖化政策を進めてほしいですか？適応政策(すでに生じている、あるいは将来予測される気候変動の影響による被害を避けたり減らしたりする政策)について、いくつか選んでください。(複数回答可)

- 風水害への備えや被災した際の救済への関心が6割以上と最も高く、自らが実際に被災することを想定している人が多いのではないかと同時に断熱改修や品種改良などへの関心も過半数を超えている。

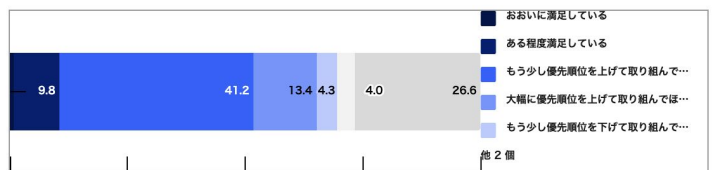


問6

青森県における気候変動・温暖化を抑えるための政策実施の優先順位について、あなたはどの程度満足していますか。

- 現状におおいに・ある程度満足しているが10.5%であるのに対し、もう少し・大幅に優先順位を上げて気候変動・温暖化政策に取り組んでほしいとの声が54.6%を占めている。

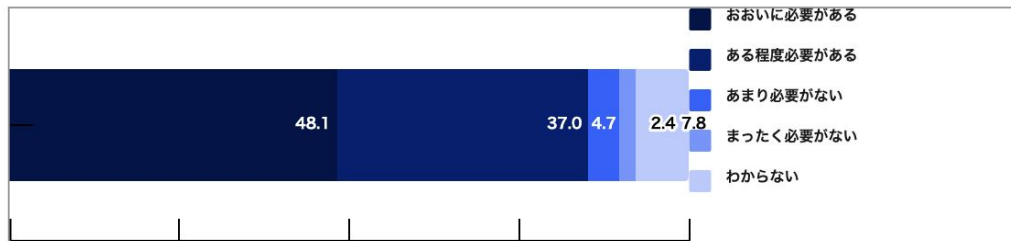
	%
全体	1000
1 おおいに満足している	0.7
2 ある程度満足している	9.8
3 もう少し優先順位を上げて取り組んでほしい	41.2
4 大幅に優先順位を上げて取り組んでほしい	13.4
5 もう少し優先順位を下げて取り組んでほしい	4.3
6 大幅に優先順位を下げて取り組んでほしい	4.0
7 わからない	26.6



問7

気候変動・温暖化について、将来世代が受ける影響をより考えていく必要があると思いますか？

- おおいにあるが48%、ある程度あるを合わせると85%が、将来世代が受ける気候変動・温暖化の影響を考えていく必要があると回答している。



問8

温室効果ガスを減らす街づくりをしていくために、市民が参加できる機会について、あなたの考えに最も合うものはどれですか？

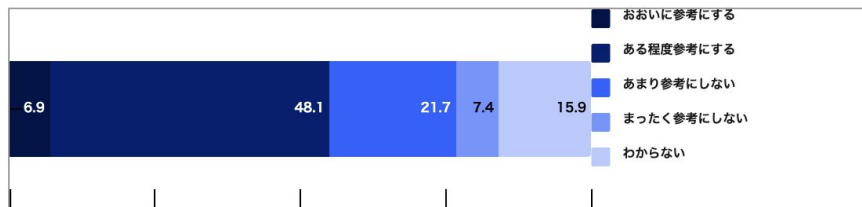
- 市民参加の機会があまり・ほとんどないとの回答が合わせて51.6%と最も多い。一方、1/4の回答者は十分・ある程度機会はあると回答するも、2割がわからないと回答を保留している。



問9

商品に、それをつくるために排出された温室効果ガスの量が明記されていた場合、商品購入の参考にしますか？

- おおいに・ある程度を合わせて55%が、商品に温室効果ガスの排出量が明記されれば購入時の参考にすると回答。



問10

温暖化に対して自分にできることは何か考えたことはありますか。

- 合計で80.4%が温暖化に対して自分にできることは何かを考えたことがあると回答する一方、約7割が考えたことはあるが、どうすればいいかわからないと回答。温暖化を心配するも、具体的に自分に何ができるかを描けていない県民が多いことが浮き彫りに。

